第6章

設定画面の機能説明

■この章でおこなうこと

BroadStation の設定画面を使用してできる、さまざまな機能について説明しています。

6.1 BroadStation の設定画面の使い方

6.2 設定画面で使える機能

6.1 BroadStationの設定画面の使い方

■ 設定画面とは

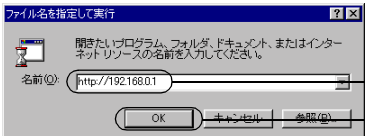
BroadStation の設定画面では、簡易設定、詳細設定、機器情報の表示をおこなうことができます。

簡易設定

標準的な入力をするだけで、BroadStation の設定ができます。

詳細設定

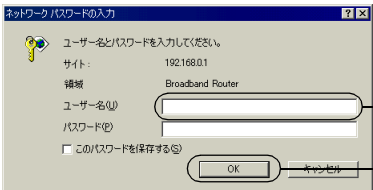
基本設定やアドレス変換、ルーティング設定などお使いの環境に合わせた細かい設定ができます。

機器情報

BroadStation の本体情報やネットワーク情報などを表示します。

■ 設定画面を表示する

BroadStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

2

「名前」欄に「http://192.168.0.1」を入力します。

［OK］をクリックします。

BroadStation の IP アドレスを変更した場合は、その IP アドレスを入力します。

3

この画面が表示されたときは、「ユーザー名」に「admin」と入力します。

[OK] をクリックします。

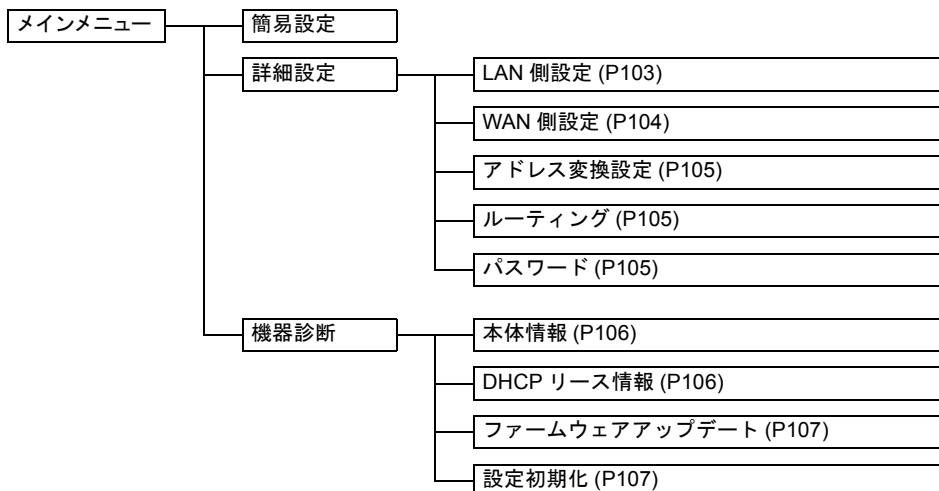
⚠注意 設定画面を表示した状態で5分以上操作をしないで放置したのち操作を継続しようとすると、ネットワークパスワードの画面が現れ、ユーザ名とパスワードの入力を要求されることがあります。ここで再びユーザ名パスワードを入力して OK をクリックすると、設定画面の TOP ページが表示されます。
設定画面の右上にある「Help」などポップアップウィンドウを使用する一部の機能ではポップアップウィンドウの中に設定画面のトップページが表示されることがあります。そのときは一度ブラウザを終了し、もう一度手順に従って設定画面を開いてください。

4

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P76）を参照してください。

6.2 設定画面で使える機能

■ 設定画面の構成

■　詳細設定画面の機能一覧

項目	説明	出荷時設定
LAN 側設定		
DHCP サーバ機能	IPアドレスをBroadStationから自動的に割り当てるかどうか設定します。	有効
割当アドレス	パソコンへ割り当てるIPアドレスを設定します。	192.168.0.2 から 16 台
プライマリ DNS サーバ	この欄に設定したアドレスがDHCPサーバ機能でパソコンへIPアドレスを通知するときに DNS アドレスとして通知されます。 ※ 空欄にした場合はBroadStationのアドレスが通知されます。このとき、BroadStation は WAN 側の DHCP サーバから取得した DNS サーバへ、パソコンからの DNS パケットを転送します。なお、空欄にする場合は WAN 側 IP アドレス設定が「DHCP サーバから IP アドレスを自動取得」になっている必要があります。	0.0.0.0
セカンダリ DNS サーバ	プライマリ DNS サーバの応答がない場合に使用する DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0.0.0.0
IP アドレス	BroadStation の LAN 側の IP アドレスを設定します。	192.168.0.1
サブネットマスク	BroadStationのLAN側のサブネットマスクを設定します。	255.255.255.0
LAN 側 RIP 設定	LAN 側 RIP 情報を設定します。	なし
RIP バージョン	送受信する RIP のパージョンを設定します。	RIP2

項目	説明	出荷時設定
WAN 側設定		
接続方法	PPPoE を使用するかしないかを設定します。	PPPoEクライアント機能を使用する
ユーザ名 (「PPPoE クライアント機能を使う」を設定したときのみ)	PPPoE の認証に使用するユーザ名を 60 文字以内で入力します。プロバイダに指定されたユーザ名を入力してください。	—
パスワード (「PPPoE クライアント機能を使う」を設定したときのみ)	PPPoE の認証に使用するパスワードを 30 文字以内で入力します。プロバイダに指定されたパスワードを入力してください。	
アイドル時間 (「PPPoE クライアント機能を使う」を設定したときのみ)	xDSL 回線へ接続してから切断するまでの時間を、秒単位で入力します。	300 秒
サービス名 (「PPPoE クライアント機能を使う」を設定したときのみ)	接続する PPPoE 端末のサービス名を 30 文字以内で入力します。プロバイダから指定のない場合は、空欄に設定してください。	—
WAN 側 IP アドレス (「PPPoE クライアント機能を使用しない」を設定したときのみ)	WAN 側の IP アドレスの設定をします。	DHCP サーバから IP アドレスを自動取得
アドレス変換	登録した LAN 側 IP アドレスがこのポートを使って WAN 側と通信するときに、登録した WAN 側 IP アドレスに変換されます。IP マスカレードの ON/OFF 状態をここで設定できます。	使用しない
WAN 側 RIP	WAN 側 RIP の設定をおこないます。	受信のみ
RIP バージョン	RIP のバージョンを設定します。RIP1 と RIP2 の両方は設定できませんので、RIP1 のみに対応したルータがある場合は、BroadStation も RIP1 に設定する必要があります。	RIP2

項目	説明	出荷時設定
アドレス変換設定		
スタートポート	指定する範囲の開始ポート番号	0
エンドポート	指定する範囲の終了ポート番号	0
LAN 側 IP アドレス	指定したポートのデータを転送する LAN 側 IP アドレスを設定します。	0.0.0.0
ルーティング		
名前	各ルーティングテーブルにつけた名前を表示します。	—
状態	各ルーティングテーブルの Yes（有効）／ No（無効）を表示します。	—
宛先アドレス	宛先の IP アドレスを設定します。	—
ゲートウェイ	宛先のIPアドレスへ通信パケットを送信するときに中継するIPアドレスを設定します。	—
パスワード		
管理ユーザ名	BroadStation の設定画面へログインする際のユーザ名です。	admin（変更不可）
旧パスワード	現在設定されているパスワードを入力します。	—
新パスワード	変更したいパスワードを入力します。	—
パスワード確認	再度、変更したいパスワードを入力します。	—

■　機器診断画面の機能一覧

項目	説明
本体情報	
ファームウェアバージョン	BroadStation のファームウェアのバージョンを表示します。
IP アドレス	LAN 側 /WAN 側の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	LAN 側 /WAN 側のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP 機能の状態を表示します。 Server ： DHCP サーバ機能が有効です（LAN 側ポートのみ） Client ： IP アドレスを自動的に取得します（WAN 側ポートのみ） None ： DHCP サーバ機能および IP アドレス自動取得機能は、無効です。 ※ PPPoE クライアント機能を使用している場合、WAN 側は「None」と表示されます。
通信パケット状態 （「通信状態」をクリックして表示）	ポート ： パケット状態を表示するポートを表示します。 ステータス ： ポートの伝送モードを表示します。 ポートにパソコン / モデム等が接続されていないときは、「down」と表示されます。 ※ PPPoE クライアント機能を使用する場合は、以下の状態が表示されます。 Idle ： 切断中です。 Dial ： 認証中です。 ChangeMe ： 通信中です。 送信パケット ： 送信したパケット数を表示します。 受信パケット ： 受信したパケット数を表示します。 コリジョン ： コリジョンが発生したパケット数を表示します。
DHCP リース情報	
IP アドレス	割り当てた IP アドレスを表示します。
ホスト名	IP アドレスを割り当てたパソコンのホスト名を表示します。
MAC アドレス	IP アドレスを割り当てたパソコンの MAC アドレスを表示します。

ファームウェアアップデート
弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアのバイナリファイルをこのページからブロードステーションに書きこんでアップデートすることができます。 「ファイルの場所」: ダウンロードしたファイルをフルパスで指定します。左にある［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択して指定することができます。 ファイル名を指定して［アップデート］ボタンをクリックするとアップデートされます。
設定初期化
各種設定を工場出荷時の状態にリセットします。 ⚠注意　工場出荷時設定に戻す前の BroadStation の IP アドレスが「192.168.0.x」以外であった場合は、設定用パソコンの IP アドレスの再取得・変更が必要な場合があります。

6

設定画面の機能説明